

# 子どもたちのために じぶんたちのために 学んで遊んでつながろう 今年の活動方針が決まる！青年部総会



発行所  
高松市田村町1033-3  
TEL (087) 867-4797  
FAX (087) 867-6446  
香川県教職員組合  
定価 1部50円 1月100円  
〔組合員の購読料は組合費を含む〕

香教組ホームページ  
<http://kakyoso.com/>



2015年度の活動報告  
をする青年部長

2015年11月「中四九プロック学習交流集会」を高教組の青年部と合同で行いました。各地から50名を超える参加者があり大成功でした。実行委員会を重ねていくうちに、それぞれがいろいろなアイデアを出し、「やりたい！」と思ったことをどうやれば実現できるかを考えるようになりまし。自分たちで難しいことは本部に協力を要請しながら進めていきました。「できないかも？」とあきらめるのではなく、できる方法を模索していくことで、どんどん「できそう！」と自信をもてるようになりまし。

後は、勢いです。つながりも生かし、「やりたい！」と思うことをどんどんすることができました。3月の「広島平和学習」はその集大成です。

## 合言葉は「BOND!! Let's do it together!!」

2016年度の活動方針は、「子どもたちのために 自分たちのために 学んで遊んでつながろう」となりました。

- ①実践・実技研修を充実させる
- ②現地研修に参加する
- ③レク&交流会でリフレッシュする

この3点を話し合いで決定しました。三豊支部の青年は、「平和を願うために『2000万署名』があるのはわかりまし。でも、なんかしっくりきません。でも、広島の平和学習で学び、署名活



新青年部長



全教共済副理事長  
平尾さん

他県の教職員との交流が魅力  
仲多度支部の青年は、「組合に入ってから期間は短いにも関わらず、全国の教職員が集まる学習会に参加することができました。他県の方とたくさん話ができ、自分の視野が広がっていることがわかります。機会があれば、みなさんを誘って参加したいと思います。」

第2部全教共済副理事長  
総会後、組合活動と共済活動について、東京から講師を招き、学習会をしまし。組合活動の一環だから、安く有利な共済ができること。特に、自動車保険は、教職員の身分を守る取り組みとして、力を入れていることなどを具体例をもとに学びまし。

## 第2回パワーアップ学習会のご案内

2017年度教員採用選考試験に向けて対策講座を開催します。1人ではできない「集団面接」の練習をしまし。ぜひ、お誘いあわせの上ご参加ください。

- 1 日時 6月19日(日) 10:00~12:00
  - 2 場所 高松テルサ 大会議室
  - 3 参加費 300円(資料代)
- どなたでも参加できます。直接会場にお越しください。

これからのサークル「おおきなかぶ」  
※(いずれも19:00~資料代100円)※どなたでも参加できます※

高松会場(香教組会館2F) 5/24 6/7 6/21 7/5  
丸亀会場(丸亀生涯学習センター5F) 6/1 6/15 6/29 7/13  
大川会場(大川教育会館) 5/25 6/8 6/22 7/6  
三豊会場(三豊教育会館) 5/30 6/13 6/27 7/11

## 全国寄宿舍指導員学習交流集会in香川

2016年 7月30日(土) 31日(日)  
第2回フシ大会&教育講座

### 人間を大切にすること —能力主義的生存競争と障害のある子どもたち—

2016年6月12日(日) 14時~16時半  
講師 鳥取大学教授 三木裕和先生  
場所 高松テルサ 303会議室

発達障害の子どもたちが、競争的環境の中で強い生きづらさを感じていまし。教師も同じような生きづらさの中で仕事をしまし。「共感的な人間関係」と言葉では簡単に言いまし。それはどのように成立するのでしょうか。三木先生が出会った事例をもとに一緒に考えてしまし。参加費 無料 みなさんぜひ参加しまし。

# 第87回香川県メーデー



メーデーデコレーションコンクールで香教組プラカードがみごと入賞!

5月1日(日) 快晴の下、第87回香川県メーデーが中央公園自由広場で行われました。「働くものの団結で、生活と権利を守り平和と民主主義、中立の日本をめざそう!」のスローガンを掲げ、各職場から、現状の報告とこれからの運動の方針などが報告されました。メーデーは、1886年5月1日、アメリカの労働者が8時間労働を要求し、ストライキで立ち上がったことから始まります。その後、ヨーロッパの労働者と共に行動することを決め、1890年5月1日を国際統一行動として広がりました。日本では、1920年に東京上野公園で第1回メーデーが行われています。日本でも87回の回数を重ね、その時々労働者の要求を反映させながら働く者の団結と行動の日として今日に至っています。

「毎日家で宿題をする」「登校するとすぐに宿題を出す」「給食は残さず食べる」「1時間座って学習に取り組み」「ノートに丁寧に書く」など学校生活にはルールに沿ってやるのがたくさんあります。多くの子どもたちは、当たり前で「当たり前」ができていない子が、この「当たり前」ができていないかと思いませんか?」

「どの子ども大切にしたい」教師はみなそう思っているでしょう。だからこそ、ハイタッチができるような「良いこと」ができる子どもかどうかではなく、「良いところ」をみつけられる大人(教師・親)かどうかが大事なのではないか? 子どもたちに「良いところ」がなければ、見つけられない。だからこそ「当たり前」が素晴らしいことだと立ち止まってみませんか?

「当たり前」を認めたい! 「さすが!」「やるね!」

「当たり前」を認めたい! 「さすが!」「やるね!」

「当たり前」を認めたい! 「さすが!」「やるね!」

私たちの願いや要求は、国会や県議会・市議会などの議会で取り上げられないと実現はしません。私たちの願いや要求を届ける一つの方法が署名です。方法は署名だけではありませんが、教職員の私たちにとって一番身近です。方法が署名だけではありません。賛同して下さる方は、お近くの組合員にお声かけください。声をあげなければ、願いや要求は実現しません。声を上げなければ、社会は変わりません。ご協力をお願いします。

### 戦争法の廃止を求める統一署名

香川の未来を担う子どもたちにふさわしい平和憲法を生かした教科書採択を求める県民署名

私たちが、日本の未来を担う子どもたちにふさわしい教科書採択を求めたい。平和憲法を生かした教科書採択を求めたい。平和憲法を生かした教科書採択を求めたい。平和憲法を生かした教科書採択を求めたい。

【署名欄】

氏名	住所

取捨団体(香川の教育をよくする県民会議)

〒760-0004 高松市西長町2-40 香川県教育委員会 香川県高等学校教職員協議会  
TEL:087-947-7100 FAX:087-947-7101

熊本・大分大震災で頑張っている自衛隊員を海外の紛争地域に送りたくはありません。子どもたちに紛争を暴力で解決することを教えたくはありません。平和安全法制の廃止を要求します

### かがやけ! みんなのえがき

教育予算の増額を! 35人学級の実現を! 教育費の無償化を!

2017年度政府予算にむけた文部科学省編成要求に対する要請署名

文部科学大臣 謹言

文部科学省から財務省へ予算要求を出すように要求する署名です。国会で審議されるためには、予算要求として出されなければいけません。土俵にすら乗れないのです。

子どもたちに平和主義を生かした教科書を採択するように県議会に要望する署名です。高校は毎年教科書を採択します。2017年度は小学校道徳の教科書の採択の年です。

# 署名のお願い

熊本・大分の震災は東北大地震に相当する被害の規模だという。早期の復興を願うばかりだ。▼ここでも政府の対応は後手に回り、現地入りした政府の担当者には熊本県知事が声を荒げる場面もあったと聞く▼その熊本県知事。最初の被災直後に報道された言葉が印象に残っている▼「備えていたつもりだった。でも、遭遇してどこか他人事だったことがわかった」▼GWに高知県へ行った。海岸沿いには、津波避難タワーがあららこちらに建てられていた。津波浸水の看板も目につき、ハザードマップが公衆トイレの個室に貼っていた▼海沿いの学校では、地震と津波を想定した避難訓練を頻繁にするという。毎月するところもある。ある学校は、数キロ先の高台の高校まで

### 他人事だった

走って逃げる訓練をするという▼友人は途中で息が切れ、子どもたちについていけなくなるそう。先生を置いて行っていいから。とにかく逃げて!と子どもたちに毎回言うとか。津波の危険が予測されているのに机の下に潜り込むことは非現実的ではないかという議論も毎回されると聞いた▼さて香川県の避難訓練はどうだろうか。日本一災害が少なく穏やかな県と言われている。「まさか」と思っていないか▼そう言えば、70年前の戦争でも「まさか」と思い続け、気がつけば空襲。気がつけば沖縄戦。気がつけば原爆投下だった。似ているな。

### 小黑板

熊本・大分の震災は東北大地震に相当する被害の規模だという。早期の復興を願うばかりだ。▼ここでも政府の対応は後手に回り、現地入りした政府の担当者には熊本県知事が声を荒げる場面もあったと聞く▼その熊本県知事。最初の被災直後に報道された言葉が印象に残っている▼「備えていたつもりだった。でも、遭遇してどこか他人事だったことがわかった」▼GWに高知県へ行った。海岸沿いには、津波避難タワーがあららこちらに建てられていた。津波浸水の看板も目につき、ハザードマップが公衆トイレの個室に貼っていた▼海沿いの学校では、地震と津波を想定した避難訓練を頻繁にするという。毎月するところもある。ある学校は、数キロ先の高台の高校まで